

令和6年3月22日

木更津市教育委員会 様

木更津市社会教育委員会議
議長 白石和義



今後の公民館のあり方について(建議)

木更津市では、昭和32年10月に「木更津市立公民館設置及び管理運営条例」が制定され、以来現在に至るまで16の公民館（金田公民館は平成31年3月31日廃止され、現在は15公民館）を設置運営しています。昭和48年3月に策定された木更津市基本構想では「地域に公民館（中学校区単位）を配置して市民の生涯教育の拠点とする」ことが明記され、一中学校区に一公民館を配置し社会教育・生涯学習を推進してきました。

この半世紀以上の長い歴史の中で、多くの市民が公民館に集い、学び合い、交流し合いながら、地域文化を育み、地域の教育力を高めてきた成果は、最大限に評価されるべきものです。

一方、地域社会を取り巻く環境は時代とともに変化し、それに伴い、公民館に求められる機能や役割が変わっていることも事実であり、多様な市民ニーズや社会の要請に対応する「公民館の新たな役割」を検討していくことが喫緊に取り組むべき課題となっています。

社会教育委員会議としても、平成25年3月に「新しい地域づくりに向けた木更津市立公民館の整備計画について」答申した以外にも、これまでに幾度となく「社会教育施設の現状と課題」「社会教育施設のあり方」を議題に供し、議論を重ねてきましたが、今回、令和5年5月30日及び10月4日の総合教育会議における「公民館のあり方について」の協議を受け、教育委員より意見を求められたことから、令和6年1月18日に社会教育委員会議臨時会を開催し意見交換を行い、さらに再度委員全員から意見を聴取した結果を踏まえ、本会議としての意見をまとめました。



1 多様なニーズへの対応

委員からは、公民館利用者の高齢化、固定化、若者の利用の少なさに関する課題が多く出されました。そのことが公民館の稼働率、利用者が減少していることの要因の一つでもあると考えます。

このことから、より地域コミュニティの拠点として、誰もが気軽に利用することができ、交流しやすい施設になるよう施設の運用方法を見直し、利用制限を緩和することが必要であると考えます。

さらに、ライフスタイルと価値観の多様化、地域社会の関係性の希薄化、デジタル化、グローバル化、さらには、防災・防犯、健康、福祉、環境、子育てなど、様々な課題への対応がより効果的に推進できるのであれば教育機関の枠を超えた施設となることは有益であると考えます。

2 社会教育機能の維持

これまで同様、本市公民館が培ってきた中学校区を単位とした特色ある社会教育事業は引き続き推進し、地域の必要課題に取り組み、地域住民が主体的、自主的に活動する社会教育・生涯学習拠点としての機能を維持、充実することが必要であると考えます。

3 運営体制について

地域コミュニティ拠点としての機能・役割を強化するためには、地域振興を進める行政各部署、地域の各種団体・機関、学校、民間企業などと連携・協働することも必要不可欠です。

その上で、地域の実情を的確に把握し、地域のニーズに応え、様々な課題に取り組んでいくため、さらには、防災拠点として機能していくためにも、市が直接施設を運営し、職員を配置していくことが必要であると考えます。

4 施設整備について

建設から50年近く経過している公民館もある中で、建物の老朽化は大きな課題です。防災拠点でもある地域の施設が最も安全・安心な場所であるよう、施設の改修、整備についても計画的に検討いただきたいと考えます。

まとめとして

公民館は、社会教育法で位置付けられた社会教育施設であり、その目的や運営方針、事業などが法律で規定されている他、任意ではあるもののその運営に住民の意見を反映する仕組みが定められています。一方、コミュニティセンターにはそのような決まりはなく、運用方法を多様にできる利点があります。

総合教育会議では概ね「今後の木更津市の地域づくりにおいて、教育機関であることよりも、市長部局所管の施設であることが、教育活動も含んだあらゆる地域コミュニティの拠点としての機能をより効果的に発揮できるのではないか」という方向性が共有化されていますが、現状では公民館とコミュニティセンターの具体的な運営方法等の違いが明確には示されていないこともあり、今回の建議はコミュニティセンター化の賛否について言及するものではありません。本会議としては、公民館の現状での課題を踏まえた今後の施設のあり方への意見を4つの要望として提言し、コミュニティセンター化も含めて、教育委員の皆様が今後の公民館のあり方について協議していくことに賛成し、本会議の意見として提出いたします。

なお、公民館をコミュニティセンター化することへの明確な反対はなかったものの、一部委員からはさらに慎重審議を求める意見が出されていることも踏まえ、今後も本会議を含め、市民の理解を得るために丁寧に対応いただけるよう要望いたします。